



地球上のあらゆる形の貧困をなくそう（月曜1クラス）

- ① 2030年までに、世界中で「**極度にまずしい**※」くらしをしている人をなくす

※ 1日あたりにつかえるお金が（食事、水、電気、すむところや着るもの、くすりなどすべて）あわせて1日約300円未満で生活しなければいけない状態のこと

- ② 2030年までに、それぞれの国の基準で **いろいろな面で「貧しい」とされる男性、女性、子供の割合を少なくとも半分にへらす。**

- ③ それぞれの国で、**人びとの生活を守るためのきちんとした仕組みづくりや対策**をおこない、2030年までに、**まずしい人や特に弱い立場にいる人たちが十分に守られるようにする。**

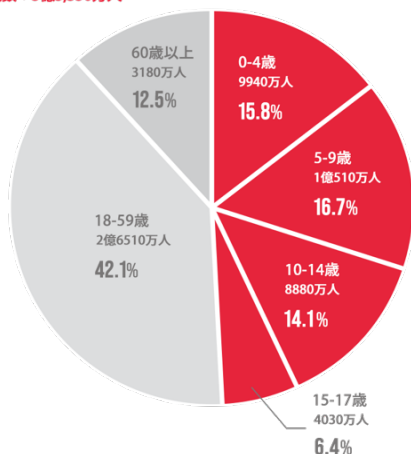
- ④ 2030年までに、まずしい人たちや特に弱い立場にいる人たちをはじめとしたすべての人が、**平等に生活にかかせない基礎的サービスをつかえて、土地や財産の所有や利用ができて、新しい技術や金融サービスをつかえるようにする。**

- ⑤ 2030年までに、**貧しい人たちや特に弱い立場の人たちが、自然災害や経済ショックなどの被害にあうことをなるべくへらし、被害にあっても生活をたて直せる力をつける。**

〈参考〉

きわめてまずしいくらしをし
強いられている人びとの数

総人数：6億3040万人
子どもの人数：3億3,350万人



まずしいくらし例（アフガニスタン）



8歳のフレシタちゃんは泣きながらはなします。「パンが1切れある日もあるし、ない日もあるの。金属のかけらをひろって売るんだけど、それでやっと大きなパンが食べられるの。」